

ヤマザクラ 2011 本プロジェクト 第 7 回植樹祭（2021 年 3 月 20 日）のご報告

奥松島復興の会
事務局長 鈴木三男

ヤマザクラ 2011 本プロジェクトの第 7 回植樹祭は 2021 年 3 月 21 日（日）に予定されていましたが、第 7 回はもともと昨年春に予定されていたものですがコロナ禍で今年になってしまったものです。そして、今年の植樹祭もまたいろいろなことが生起して、目的の半分は達成したものの、のこり半分は残念ながら未達成、と言う結果でした。ことの顛末を皆さんにご報告させていただきます。

植樹祭前日。山出し開始！！

従前に習って、植樹祭前日の 20 日（土）の午後に苗畑で植樹するサクラの堀採りを開始しました。参加者は地元の方、島外からの参加者と資料館スタッフです。参加の意思を表明されていた何人かの方々もコロナの状況で断念され、島外の参加者は 2 名でした。苗畑でもう限界まで大きくなってしまった苗を中心に 27 本、掘りあげました。皆さん、もう手慣れたもので、堀採りは意外と順調に進み、また、明日は大雨の悪天候が予想されていたので、今日のうちに出来るところまでやってしまおう、と言う事になり、掘りあげた苗を軽トラに積み、植栽予定地の「大浜田湿地」（大浜の水田であったところを親水自然公園として整備したものの）に植えました。



限界まで大きくなった苗木。



重労働の堀取りもお手の物!!



いつもより掘りやすい！

お天気が心配・・・急遽植樹することに！

ここは土地を造成したばかりなので植え穴を掘るのがとても容易で、植え付け作業もどんどん進み、なんと掘りあげた苗 27 本全部植えることが出来ました。明日の植樹祭はポット苗と苗畑で既に根回しがなされている苗を植え付けることとしてどんよりとした空の下、この日の作業を終えたのです。





この日のメンバーのみで記念撮影！



右に見えるのが湿地。

そして、夜に・・・。

島外者 2 名は民宿に入り、コロナで残念ながら参加できなかった人と Zoom でリモート懇親会をしようとパソコンを立ち上げたのが 6 時。お互い不慣れで一人とようやく繋がったまさにその時！あの地震が来たのです！震度 5 強ということだったのですが、瞬間的にはもっと強かったと感じました。パソコンに向かって「地震だ、地震だ！」と大声で叫んだら、先方は、「えっ？地震？」と言っているうちに「あっ、こっちも揺れ出した」ということでした。スマホの地震警報は大揺れの最中に鳴りました。強い揺れに 10 年前を思い出しましたが、決定的に違ったことは強い揺れが短時間だったことと停電しなかったこと。しかし民宿はまさに波打ち際。宿の人の案内ですぐに高台避難で、津波警報のサイレンが鳴り響いてました。で、宿の人が避難先に夕食を運んでくれてそこで食事、津波注意報が解除されるまでそこで過ごしました。もちろんリモート懇親会は中止。結局津波は観察されなかったようで宿に戻ったのは 9 時過ぎでした。

21 日当日は予想された程の大雨にはならなかったのですが、地震で縄文村資料館の展示物の落下、破損が相次ぎ、資料館スタッフは植樹祭どころでは無い、と言う事で中止としました。結局、悪天候を予想して昨日のうちにやれるところまでやっておいたことが「良い結果」となりました。苗が動く前にもっとやっておきたいことも残ったのですが、しょうがありません。それにしてもまあ、震災 10 年という節目の植樹祭をまた地震が直撃しました。巡り合わせというものでしょうか。

(事務局長)